

「リペアメントFE」は、施工時に現場で所定量の水と鋼繊維を加え、練り混ぜるだけで使用できるセメント系の高強度の間詰めモルタルです。

材齢初期から高い強度発現性、無収縮特性を有しています。

所定量の鋼繊維を混入することで、高い曲げ強度発現性が得られるため、PCa床版とPCa床版との間の間詰めモルタルに最適なプレミックスモルタルです。

また、遮塩性にも優れていますので、塩害対策の充填施工に採用できます。



リペアメントFEのフレッシュ性状

### ◆リペアメントFEの特長

- ・ 無収縮で、ノンブリーディングです。
- ・ 初期強度発現性に優れ、従来の無収縮モルタルに比べ、極めて高い強度が得られます。
- ・ 鋼繊維を混入して使用することで、PCa床版間詰め材としての使用に適しています。
- ・ 水量により、流動性の調整ができ、勾配部や狭小部等、用途に応じた充填に適しています。
- ・ 遮塩性に優れていますので、塩害対策に有効です。
- ・ プレミックスタイプであるため、運搬作業、現場での練り混ぜ作業の効率向上に繋がります。

### ◆リペアメントFEの用途

- ・ PCa床版とPCa床版との間詰め部
- ・ 初期強度発現が必要とされる部位
- ・ 耐震補強で充填が必要とされる部位
- ・ 遮塩性が要求される部位

### ◆リペアメントFEの仕様例

1袋あたりの仕様(練り上り約10ℓ)			1m <sup>3</sup> あたりの仕様			フレッシュ性状の目安
リペアメントFEプレミックス (kg)	練り混ぜ水 <sup>※1</sup> (kg)	鋼繊維 <sup>※2</sup> (kg)	リペアメントFEプレミックス (kg)	練り混ぜ水 (kg)	鋼繊維 (kg)	0打フロー <sup>※3</sup> (mm)
20	2.60 (2.40~3.20)	1.8	2,000 (20kg×100袋)	260	180	100~200 <sup>※4</sup>

※1: 練り混ぜ水量は、環境温度、練り上り温度の影響で変動しますので、試験練り等で確認して下さい

※2: 鋼繊維: φ0.2mm×長さ15mm、密度7.85g/cm<sup>3</sup>

※3: 0打フロー: JIS R 5201(15回の落下なし)

※4: 0打フローは施工する部位の勾配に応じて水量の調整により、フロー値の目安を決定して下さい

## セメント系 高強度 間詰めモルタル

### ◆リペアメントFEの物理試験結果例

環境温度(°C)	5	20	30
鋼繊維(kg/袋)	1.8	1.8	1.8
水量(kg/袋)	2.8	2.6	3.0
練り上り温度(°C)	15	30	37
0打フロー(mm)	146	132	162
単位容積質量(kg/L)	2.36	2.43	2.38
凝結時間(時間-分)	始発	4-00	1-30
	終結	7-00	2-30
ブリーディング率(%)	0	0	0
圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	1日	9.7	59.9
	3日	44.3	86.9
	7日	73.8	105
	28日	97.6	112
			108
割裂引張強度(N/mm <sup>2</sup> )	-	8.71(ひび割れ発生時)	-
曲げ強度(N/mm <sup>2</sup> )	-	37.2	-
静弾性係数(kN/mm <sup>2</sup> )	-	39.4	-
塩化物量(kg/m <sup>3</sup> )	-	0.14	-

0打フロー：JIS R 5201

ブリーディング率：JIS A 1123

単位容積質量：JIS A 1171

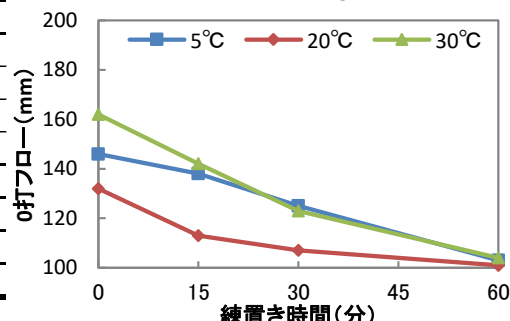
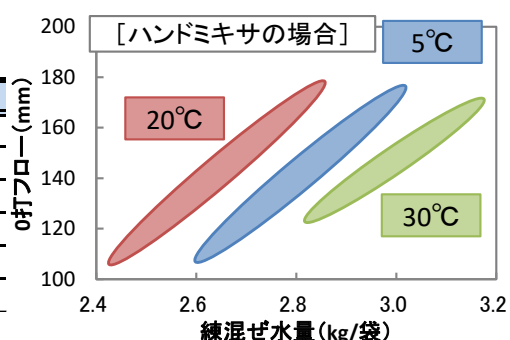
圧縮強度：JIS A 1108(寸法φ5×10cm)

凝結時間：JIS A 1147

割裂引張強度：JIS A 1113(材齢28日)

※物性値については、試験結果例であり、品質保証値ではありません。

※回転数600rpmのハンドミキサーを用い、水とFEを3分練混ぜ後に、鋼繊維を投入し、1分間の練混ぜを行いました。



曲げ強度：JIS A5201(材齢28日)

静弾性係数：JIS A 1149(材齢28日)

塩化物：JIS R 5202

### ◆施工上の注意事項

- ・練り混ぜ水量は、環境温度、施工方法に応じて試験練りを実施の上、決定して下さい。  
水量範囲2.40～3.20(標準2.60L/袋)
- ・施工は練り混ぜた材料の温度が10～35°Cとなる範囲で行って下さい。
- ・練り混ぜには、ハンドミキサー(回転数600rpm程度以下)、または練り混ぜが同等以上の性能を有するミキサーを用い、材料が均一に練り混ぜられたこと(3分以上)を確認後、鋼繊維を投入し1分以上の練混ぜをして下さい。
- ・アルミ製の練りバケツや、ハンドミキサーは異常膨張の原因となりますので使用しないで下さい。
- ・施工面は、予め表面の油類・ホコリ等を除去し、十分な水湿し、または吸水調整剤等を塗布してから施工(充填)して下さい。
- ・鉄筋が腐食している場合は、適切な防錆処理を行った後、施工して下さい。
- ・施工後は、モルタルの表面が直射日光や風の影響を受けないように、布・シート等で覆い、湿潤状態で養生して下さい。また、外気温が低い場合は保温養生を行って下さい。
- ・施工の際は、フロー値に応じて充填不良とならないように施工を行って下さい。

### ◆取扱いの注意事項

- ・本製品の保管方法は、セメントと同様とし、破損した袋の製品は使用しないで下さい。
- ・取扱いおよび施工には、必ず、防塵マスク、保護メガネ、ゴム手袋等の保護用具を着用して下さい。
- ・本製品が目に入った場合、皮膚に付着した場合は、速やかに洗浄し、専門医の診断を受けて下さい。

■問い合わせ先：株式会社デイ・シー 技術センター

TEL：044(333)0618 FAX：044(355)4010

〒210-0005 神奈川県川崎市川崎区浅野町1-17

■販売元：株式会社デイ・シー セメント事業本部 営業部

TEL：044(223)4753 FAX：044(223)4759

〒210-0005 神奈川県川崎市川崎区東田町8番地 パレール三井ビルディング17F

■販売代理店